

# 令和4年度 延岡青朋高等学校 総合評価（定時制課程）

『評価』は4段階の数値で行う。 4：十分達成されている 3：ほぼ達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない

重点目標	具体的な方策(P)	結果と課題(D)	自己評価(C)		改善策または充実項目(A)	学校関係者評価			
			項目別	総合		評価		項目別	
							コメント		
「確かな学力」の育成	○生徒の実態を踏まえた教育課程および評価方法の検討の継続 ○国語、数学、英語における学校設定科目の開講を継続させ、学び直しや進学希望生徒へのニーズに対応する。 ○科目履修制度の的確な運用を行う。	○3年間での卒業可能なII部③の生徒は増加傾向にある。 ○学校設定科目のニーズは高く、教科の協力も得られている。 ○科目履修制度はコロナ等の事情により今年度から取りやめた。 ○新課程における評価基準及び評価規準を明確にし、シラバスを作成し生徒を通して保護者へ配布した。	3		○新課程対応の教育課程が動き出した。教務部と教科代表者会との連携の充実により、生徒と学校のニーズの変化に対応したものに近づけていく。 ○新課程の実施における評価基準等、シラバスの作成について、今年度実施科目の検証を行い、次年度へ向けて準備していく。	3.2		・新しい教育課程に対応していくことはなかなか難しい部分もあると思うが、言葉のイメージに惑わされず、改訂の真意をくみ取ることを大切に、より本校に適した変革へと繋げていって欲しい。 ・新課程への対応は大変かと思いますが、信頼性のある評価のため職員の連携した取り組みに期待します。	
	○授業力および単位修得率の向上 ○月別指導計画を作成し、授業の振り返りを行うことで、個々の授業力向上を図る。	○教科会を通して授業改善や専門性の向上に向けて、継続して取り組んでいる。	3		○今年度は、感染症予防対策を充実させることにより、予定どおり計画的な授業実践が行えた。	3.6		・生徒の行動範囲が他校より広いため、感染症への対応は大変かつ重要である。よく取り組まれていると思います。 ・感染症対策は大変であったこととお察します。 ・まだまだコロナも落ち着かず、集団での授業に厳しい面があると思われます。その中で学校が独自の対策の下、継続可能な授業の充実をお願いしたい。	
	○アクティブラーニングの視点を取り入れた研究授業及び授業研修や、ICTを活用した研究授業及び授業研修を実施することで単位修得率向上のための一助とする。	○ICT化は更に加速した。研究授業週間や授業研修では、ICT利活用を主なテーマとし、各教科それぞれに意義ある研修となり、授業に生かされた。	3.5		○新しいタブレットの導入、1学年の1人1台端末の導入等、ICT化が加速し、授業環境がより充実してきた。 ○グーグルクラスルームを活用して、各種アンケートなどを実施できるようになった。 ○ICT推進のために授業研修会の充実を今後も継続したい。	3.7		・普段から、自主的にICT活用やアクティブラーニングの研修に取り組まれている先生方もおられ、それに加え、組織的な研修も開催されるなど全体としての向上意識が強い。 ・ICT教育の充実に期待したい。 ・これからも学習環境の充実に努めてください。 ・ICT化の加速により、授業環境も充実し喜ばしく思います。更なる単位修得率の向上を期待します。 ・ICT（情報通信技術、情報通信科学）教育の推進は、今後益々重要であり、「C=コミュニケーション」も加わり、情報発信（SNS）活用等も必須の時代になっています。更に進化したICT教育の構築をお願いしたい。	
	○生徒の発達段階に応じた、グループ毎の取組。 ○キャリアパスポートの有効的な活用。 ○各選考試験に対応する、面接練習体制、教科と連携した作文指導及び教科指導の実施。	○グループ毎に設定したものが実施できた。特にCグループでは独自に取り組み新しい企画ができた。 ○面接指導、作文指導など昨年と同様職員の協力で対応できた。進学面では4年制大学への進学が増えてきている。	4		○昨年に引き続き、キャリアパスポート冊子の改善を図っていきたい。 ○教員同士の連携をより密に行うことで、進路指導の充実を図っていきたい。	4.0		・定時制課程に通う生徒も、創立当初とは異なる理由で在籍している者も多い。現状の生徒のニーズに応じた進路指導がなお一層望まれる。 ・きめ細かい指導をこれからもよろしくお願いします。 ・様々な事情や特性を持った生徒が増えている中、今までは「進学するなら通信制へ」の選択から、定時制でも4年制大学へ進学可能になることで入学希望の選択が広がり、学校生活を充実させ、社会での活躍を期待できると思います。これからも、進学支援、ご指導をお願いします。 ・「キャリアパスポート」の取り組みは自己啓発にとっても大変意義ある取り組みだと思います。個々へのフィードバックにより生徒への更なる支援をお願いしたい。	

2 「豊かな心」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規範意識の醸成（問題行動の未然防止への常時指導や巡回指導の強化）</li> <li>○礼法やマナー指導の充実（集会や式典での指導の充実）</li> <li>○学校行事の充実（生徒会や生徒専門委員会との連携強化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本年度も夕休みの巡回指導を継続して実施した。その成果もあって、問題行動発生が少なかった。</li> <li>○交通安全の意識を高めるために、交通安全標語を募集して、優秀作品を校門付近に横断幕で掲示するという新たな試みを実施した。</li> <li>●授業に出ていない生徒が、ピロティで騒ぐことがあった。複数回注意をして、収まっているが、今後も継続的に注意喚起をしていきたい。</li> <li>○本年度は行事をほぼ通常開催で実施することができた。ここ数年、中止や内容を変更していたため、生徒も職員にとっても有意義な行事となつた。</li> <li>○礼法・マナー指導において、県生活体験発表大会への参加に伴い、数年ぶりに服装やマナー指導が充実して行えた。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本年度は、下校指導がほぼできなかつたが、交通標語を募集するという新たな試みを実施した。通信制課程と協力して今後も継続していきたい。</li> <li>○数年ぶりに行事が通常開催で実施できたが、不慣れな職員や生徒も多かつたため、課題も多く出てきた。時間を空けず改善に向けて生指部で話し合いを行っている。</li> </ul>	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・withコロナでようやく学校行事も再開されてきたようです。生徒の生き生きとした活動が今後も見られることを期待します。</li> <li>・青朋高校の先生方は、生徒の事をよく知った上で生徒指導なりをされていると思います。表面的、形骸的ではない指導が生徒を良い方向へと導いているのではないかでしょうか。</li> <li>・マナー、礼儀等の指導は抜かりなくやっていくことが大切だと考えます。</li> <li>・生活面の充実した指導を引き続きお願いします。</li> </ul>
2 「豊かな心」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校生活アンケートや日常の相談を通して、いじめや人間関係のトラブル、深刻な悩み等をすくいあげ、対応策を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前期1回、後期1回の学校生活アンケートや担任による面談を通して、早めに生徒の状況を知ることができた。いじめはゼロであった。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害や困難さに応じた指導・支援について理解を深めることが大切である。</li> </ul>	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談に関しては細やかに対応して頂いていると感じます。</li> <li>・障がいについての理解も日進月歩であり、研修の継続も必要。</li> <li>・相談しやすい環境作りに努めてください。</li> </ul>
2 「豊かな心」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書週間を通して本に興味を持つてもらい、POPコンテストの充実を図る。</li> <li>○読み聞かせを通して、心の感性を高める活動をすすめる。</li> <li>○1人当たりの貸し出し冊数の目標6冊を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書週間を実施。ただし今年度は貸し出し数0・3冊（4月～11月）。読書週間は本を各自持参している。</li> <li>○読み聞かせ朗読者はDグループの生徒だけでなく、A・Cグ・6限総グループの生徒も取り組んだ。</li> <li>○数名であるが読書感想画や読書感想文に取り組むことができた。</li> <li>○令和4年度読書感想画コンクールで第1席と第2席を受賞</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書週間や読み聞かせなど、読書に親しむよう働きかけをしているが、貸し出し数をみてみると読書離れが進んでいるようである。また、自習時間に図書館を使用することにより、課題が早く終わった生徒は読書をする姿が見られる。</li> <li>○POPコンテストの作品については、図書委員の生徒が螢月祭で昨年度の作品を展示したことにより、今年度もすばらしい作品が数多く見られた。また、生徒の作品を図書室に展示するなど読書に興味がもてるような環境づくりに取り組んだ。</li> </ul>	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館も本を刷新したり、生徒向けに展示を工夫するなど、魅力のあるものになってきている。</li> <li>・読書感想画コンクール一席二席受賞は素晴らしい。</li> <li>・芸術面でも素晴らしい才能を持った生徒さんもおられるので、POPコンテストなどその発表の場を提供することは大事な取組であると思う。</li> <li>・読書に興味を持たせようとする工夫が感じられます。引き続き取り組んでください。</li> </ul>

3 「健やかな体」の育成	○規律ある生活習慣の確立（生徒専門委員会との連携強化） ○保健安全教育の推進（各種研修会の充実） ○部活動の活性化（心・技・体の強化・部活動規定の見直し）  ●部活動規定については、出てきた問題点などについて、その都度対応しているが、一度整理する必要がある。	○生徒専門委員会において各委員会で積極的な話し合い活動や呼びかけが行われた。 ○県定通体育大会において、女子バレー部・女子バドミントン部・男子柔道部が全国大会の切符を得た。残念ながら女子バレー部はコロナの影響で全国大会出場を断念した。	3	○「校則の見直し」について、本校の方針を「生徒心得」に記載した。 ○年間を通して部活動に励む生徒が出てきて、部活動に活気がある。	3.4	・多くの生徒が仕事やアルバイトをしながらの通学で、部活動にも取り組んでいることは素晴らしい。の中でも多くの部が全国大会への出場権への切符を手にしていることは、活動している生徒たちのいい経験のひとつになったのではないか。 ・部活動の運営は大変でしょうが、頑張ってください。 ・コロナ禍において学校生活、部活動のあり方も変化し、先生方のご指導でのご苦労をお察しします。これからも生徒とのコミュニケーションをしっかりと取り、少しの変化でも心に耳を傾けていただき、問題を未然に防いでいただきたいと思います。 ・部活動の更なる活躍を期待しています。
	○生徒が危機管理意識や、施設等の安全管理、保健安全に关心を持ち、自ら考える力を育成するため、環境教育や防災教育、心肺蘇生法実技講習、講演会等を実施する。	○延岡市消防本部の協力を得て、避難訓練及び災害学習を年3回、AEDの実技講習会を生徒・職員各1回実施した。また、生徒会による防災研修報告を全校生徒対象に行なった。性教育、喫煙防止の健康教室も計画どおり実施し、生徒の意識と職員の対応力の向上に役立てることができた。	4	○生徒が、自ら考え、適切に判断し、行動できる力を、さらに高めるため、防災訓練や災害学習、環境教育について、関係機関と連携し、内容の充実に努める。	4.0	・夜間、停電時を想定した避難訓練を実施するなど、学校の特性に応じた危機管理が行われている。 ・生徒へのAED講習は、様々な場所でAEDの設置が増えてきている現在、将来的にも有用となるものと考える。 ・定期的な防災教育、訓練はいざという時に、役に立つと思います。 ・外部講師や地域を巻き込んだ学校運営の推進は非常に有効（有意義）な取り組みであると思います。
4 学校創生『チーム青朋』の確立	○各関係者・関係機関等との適切な連携を図る	○生徒支援では、ハートサポーター、県立支援学校、市の相談支援センターなどと連携をとり情報を共有、方策を練ることができた。	4	○様々な事情や特性をもった生徒が増えてきているので、今後も専門家と連携をとりながら生徒に対応していくことが重要である。	4.0	・ハートサポーターが配置されるなど環境的に恵まれている。 ・生徒の家庭環境の事を考えれば、ソーシャルワーカーとの連携も今後重要になると思われる。 ・これからも各方面との連携を図ってください。
	○PTA活動によって保護者と学校との連携・協働を図る	○PTA総会は実施出来なかったが、校内生活体験発表会の審査、前期スポーツデイ及びPTA夜間あいさつ運動で、PTAのご協力を得ることが出来た。	3	○生徒を通じての連絡が保護者に伝わっていない事があるので、次年度は、全保護者に案内する場合はグーグルクラスマップ等を利用し、周知したい。	3.2	・コロナが落ち着いて、またPTA活動が活性化することを祈ります。 ・以前から保護者への連絡不備は問題になっていました。「Google クラスマップ」等の活用で周知が徹底されることを期待します。 ・保護者の生活も多様になっている中、PTA活動は強制ではなく「できる時に」を心がけ、保護者と学校、地域の連携・協働をお願いしたいと思います。 ・通信制定時制でのPTAとの連携は難しい面があると思いますが、半歩でも前に進められる「仕掛け」創りの構築をお願いしたい。
	○行事での通信制との連携を図り、全校的な協力体制を確立する。	○後期卒業式は定通り別々開催となった。会場作成及び片付けで定通お互い協力して取り組めた。	3	○後期卒業式は別々の開催であるが、合同で実施してきた以前と同じように、お互いの協力体制を取ることができた。	3.2	・早く、みんなでお祝いできる卒業式が開催できるようになるといいですね。 ・定通、お互いに協力を続けてください。